

一般化3【定積分の扱い】

$-1 \leq x \leq 1$  において、 $f'(x) \geq 0$  となる関数  $f(x)$  について

$$\int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \geq 0$$

が成立することを証明せよ。

< '68 筑波大 >

【戦略1】

$\int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx$  は「具体的な値(定数)」です。

定数に対して我々は何もできません。

この特別な値を  $F(1)$  などと見立てる関数を設定することを考えて

$$F(t) = \int_{-t}^t \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx$$

と設定します。

$F(1)$  を考えるため、 $0 \leq t \leq 1$  の範囲で考えれば十分です。

一般に

$$\begin{aligned} \frac{d}{dt} \int_{f(t)}^{g(t)} h(x) dx &= \frac{d}{dt} [H(t)]_{f(t)}^{g(t)} \quad (H(t) \text{ は } h(t) \text{ の原始関数}) \\ &= \frac{d}{dt} \{ H(g(t)) - H(f(t)) \} \\ &= h(g(t)) g'(t) - h(f(t)) f'(t) \end{aligned}$$

という基本事項に従って、上記  $F(t)$  を  $t$  で微分していきます。

【解1】

$$F(t) = \int_{-t}^t \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \quad (0 \leq t \leq 1) \text{ とおく。}$$

$$\begin{aligned} F'(t) &= \frac{t}{\sqrt{1+t^2}} f(t) \cdot 1 - \frac{-t}{\sqrt{1+(-t)^2}} f(-t) \cdot (-1) \\ &= \frac{t}{\sqrt{1+t^2}} \{ f(t) - f(-t) \} \dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

$-1 \leq t \leq 1$  の範囲で  $f'(t) \geq 0$  という条件より、特に  $0 \leq t \leq 1$  においても  $f'(t) \geq 0$  であるから、 $f(t)$  は  $0 \leq t \leq 1$  の範囲で単調増加。

$0 \leq t \leq 1$  の範囲では、 $t \geq -t$  であるから、 $f(t) \geq f(-t) \dots \textcircled{2}$

①, ② より、 $0 \leq t \leq 1$  の範囲で  $F'(t) \geq 0$

したがって、 $0 \leq t \leq 1$  の範囲で  $F(t)$  は単調増加であり、

$$F(t) \geq F(0) = 0$$

特に、 $F(1) \geq 0$  であるため、 $\int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \geq 0$  が成り立つ。

【戦略 2】

対称的な積分区間に対して、 $\int_{-1}^0 + \int_0^1$  というように区間を分割してみたい気持ちもあります。

そこから攻め落とすことを狙っても本問は解決します。

【解 2】

$$I = \int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \left( = \int_{-1}^0 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx + \int_0^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \right)$$

とおく。

$$\text{また, } I_1 = \int_{-1}^0 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \text{ とする。}$$

$$I_1 \text{ において, } x = -t \text{ とおくと, } dx = -dt, \begin{array}{|c|c|c|} \hline x & -1 & \rightarrow 0 \\ \hline t & 1 & \rightarrow 0 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{aligned} I_1 &= \int_1^0 \frac{-t}{\sqrt{1+t^2}} f(-t) (-dt) \\ &= -\int_0^1 \frac{t}{\sqrt{1+t^2}} f(-t) dt \\ &= -\int_0^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(-x) dx \quad (\because \text{定積分は積分変数によらない}) \end{aligned}$$

よって,

$$\begin{aligned} I &= -\int_0^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(-x) dx + \int_0^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \\ &= \int_0^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} \{f(x) - f(-x)\} dx \end{aligned}$$

$-1 \leq x \leq 1$  で  $f'(x) \geq 0$  という条件から、積分区間  $0 \leq x \leq 1$  において、 $f'(x) \geq 0$  であるため、 $f(x)$  は単調増加である。

また、 $0 \leq x \leq 1$  においては  $x \geq -x$  であるから

$$f(x) \geq f(-x)$$

$$\text{ゆえに, } 0 \leq x \leq 1 \text{ において } \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} \{f(x) - f(-x)\} \geq 0$$

したがって、 $I \geq 0$ 、すなわち  $\int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \geq 0$  が成り立つ。

## 【戦略 3】

$$\frac{x}{\sqrt{1+x^2}} = (\sqrt{1+x^2})'$$

であることを看破し、部分積分をかますと

$$\begin{aligned} & \int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \\ &= \left[ \sqrt{1+x^2} f(x) \right]_{-1}^1 - \int_{-1}^1 \sqrt{1+x^2} f'(x) dx \\ &= \sqrt{2} \{ f(1) - f(-1) \} - \int_{-1}^1 \sqrt{1+x^2} f'(x) dx \end{aligned}$$

となりますが、積分区間  $-1 \leq x \leq 1$  に対して

$$\int_{-1}^1 \sqrt{1+x^2} f'(x) dx \leq \int_{-1}^1 \sqrt{2} f'(x) dx$$

であることから解決していることに気が付きたいところです。

## 【解 3】

$$\begin{aligned} \int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx &= \int_{-1}^1 (\sqrt{1+x^2})' f(x) dx \\ &= \left[ \sqrt{1+x^2} f(x) \right]_{-1}^1 - \int_{-1}^1 \sqrt{1+x^2} f'(x) dx \\ &= \sqrt{2} \{ f(1) - f(-1) \} - \int_{-1}^1 \sqrt{1+x^2} f'(x) dx \end{aligned}$$

ここで、積分区間  $-1 \leq x \leq 1$  において、

$$\sqrt{1+x^2} \leq \sqrt{2}, \text{ 及び条件の } f'(x) \geq 0$$

であることに注意すると

$$\begin{aligned} \int_{-1}^1 \sqrt{1+x^2} f'(x) dx &\leq \int_{-1}^1 \sqrt{2} f'(x) dx \\ &= \sqrt{2} \left[ f(x) \right]_{-1}^1 \\ &= \sqrt{2} \{ f(1) - f(-1) \} \end{aligned}$$

移項すれば、 $\sqrt{2} \{ f(1) - f(-1) \} - \int_{-1}^1 \sqrt{1+x^2} f'(x) dx \geq 0$  となり

$$\int_{-1}^1 \frac{x}{\sqrt{1+x^2}} f(x) dx \geq 0$$

が成り立つことが示された。

## 【総括】

今回のテーマに即したのは【解 1】です。

定数に対する我々の無力さを受け止めて、一般化することを糧にしてください。